

年間の議会出席日数 平成29年実績							
議 長							
平成29年	議会	会期の日数	うち休会日	実質日数	月額報酬	ボーナス	月合計
1月		0		0	490,000		490,000
2月	2月議会	35	18	17	490,000		490,000
3月		0		0	490,000		490,000
4月		0		0	490,000		490,000
5月		0		0	490,000		490,000
6月	6月議会	20	10	10	490,000	1,119,038	1,609,038
7月		0		0	490,000		490,000
8月		0		0	490,000		490,000
9月	9月議会	28	15	13	490,000		490,000
10月		0		0	490,000		490,000
11月		0		0	490,000		490,000
12月	12月議会	20	10	10	490,000	1,225,613	1,715,613
年間合計		103	53	50	5,880,000	2,344,651	8,224,651
議 員							
平成29年	議会						
1月		0		0	380,000		380,000
2月	2月議会	35	18	17	380,000		380,000
3月		0		0	380,000		380,000
4月		0		0	380,000		380,000
5月		0		0	380,000		380,000
6月	6月議会	20	10	10	380,000	867,825	1,247,825
7月		0		0	380,000		380,000
8月		0		0	380,000		380,000
9月	9月議会	28	15	13	380,000		380,000
10月		0		0	380,000		380,000
11月		0		0	380,000		380,000
12月	12月議会	20	10	10	380,000	950,475	1,330,475
年間合計		103	53	50	4,560,000	1,818,300	6,378,300

※議会閉会中の委員会は年間数日あります。議長は議会を代表して各種会議に出席することもあります。しかし、年間たった50日の議会で市民の要望に応えることができる実のある議会運営ができるのか。私はかねてより議会の通年開催を主張。例えば6月議会冒頭、3月、4月、5月は議会がないので市長は「議会を開くいとま（暇）がなかった」と言って、その間の支出を専決事項として行い事後承諾。このように市民の代表であるべき議会がチェックできず税金の支出が行われているのです。議会の招集権は市長にあり、議長が招集できないのが現状です。なぜ、地方自治法を改正して議長が招集できるようにしないか、というとあまり地方議会を活発にすると、政府への要望がいろいろと出てきた困るのです。しかし、今こそ、日本を立ち直らせるためには地方議会の活発な議論を通して日本の抱えている問題点を浮き彫りにし、その対策をとることが急務です。

12月を見てみて下さい。月額報酬の38万円とボーナス95万円で合計133万円です。それもたった10日です。パートの方々が汗水たらしても年間133万円稼ぐのは至難の業です。増額などと言っている寝ぼけた人もいます。



























